

1

令和4年度 3学年 総合的学習の時間

単元名 たんけん はっけん ほっとけん ～前田の安全ほっとけん！～

単元の目標

前田地域の安全を守るための課題を設定し、必要な情報の収集や表現方法を工夫したり、安全マップを作ったりする活動を通して、前田地域の安全を守るための人々の思いや安心して過ごせる為に大切なことに気づき、それらのことを、よりよいまちづくりに生かそうとする意識を高める。



2

単元について

- ① 学習指導要領の第一の目標を踏まえ、地域や学校の特色に応じた課題児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて設定した単元である。
- ② 「ヒヤリ・ハット」というキーワードを踏まえ、身の回りの(ヒヤリ・ハット)経験を想起させながら、問題を追及・解決する活動に取り組む。
- ③ 子ども達には、地域の安全マップ作りを通して、多面的・多角的な見方・考え方や他者との関わりの大切さに気付かせながら、地域の安全を守るには、互いに連携し協力し合うことが必要であることに気づかせていく。さらに、それらを守り続けられる実践力を育成することを通して、SDGSの目標11「住み続けられるまちづくりを」へとつなげる。

住み続けられるまちづくり



3

3年生の課題と実態

グループ活動の中で、相手の考えを最後まで聞き、よりよい方法を考えること

課題に最後まで粘り強く取り組むこと

生活科(2年生)
地域のたんけん
身近な人々との関わり
(体験・気づき)
地域への親しみ

◎学習を通して主に育てたいESDの見方・考え方(構成概念)

【多様性】: まちの安全を守るためには多種多様な事物・現象があることが分かり、それらを多面的・多角的にみたり、考え得たりすることができる。

【連携性】: 安全マップ作りの経験を通して、町の安全を守るための地域の人々の想いや働きを知り、互いに協力して問題を解決していくことが大切だと気付くことができる。
安全マップ作りの活動を通して、安全なまちづくりを支えるためには、多種多様な「ヒヤリ・ハット」が内在していることが分かりそれらを未然に防ぐ為には、地域やその一員である一人一人が互いに連携・協力し合うことが大切だと分かる。

◎学習を通して主に育てたいESDの能力・態度

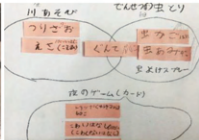
《⑤コミュニケーションを行う力》 相手意識をもち、自分の考えや想いを簡潔にまとめ伝えたり、他者の話を聞くことで自分の考えを再構築したりすることができる。

《⑥他者と協力する態度》 グループの仲間と協力し励まし合いながら、ものごとを進めようとする態度を育てる。

4

単元のカリキュラムマネジメント(他教科との関連)

グループの話し合い
国語「山小屋で3日間
すごすなら」ベン図



プレゼンテーションを成功させるポイントは?
国語「わたしたちの学校じまん」話す聞く

3年 ESDカレンダー

学期	1学期				2学期				3学期		
	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	ちょっと切りたい友だちのこと	こまきまじむ	仕事のくらし、見つけたよ		ポスターを競おう 山小屋で3日間すごすなら話し合い	はんで意見をもとめよう					わたしたちの学校じまん(プレゼンテーション)
算数		表とグラフ	長さ				食べ物のひみつがくえん				
社会	わたしたちのまちと市 わたしたちの市の様子				はたらく人とわたしたちのくらし 地いきの安全を守る					わたしたちの市のあゆみ	
総合	たんけん はっけん ほっとけん ～楽しい浦添 はいチーズ!～				たんけん はっけん ほっとけん ～前田の安全 ほっとけん～						



助けがくるまで浮いて待つ。
自分の身を守る。
体育「着衣泳」浦添市消防署
救急救命士

「参加」にもいろんな段階があるんだね。
子どもが主体でできることは?
特活「参加のはしご」

